

### ひの市民活動団体連絡会『第20回通常総会』開催

平成26年4月20日(日)14時よりひの市民活動支援センター2階会議室で「第20回通常総会」が開催され、土屋副会長の司会のもと湯口会長の挨拶とご来賓の日野市荻原副市長のご挨拶に続き、渡邊企画部長および地域協働課の熊澤課長ほか出席課員の紹介、さらに当日急遽ご来場された小田原衆議院議員が紹介されました。

事務局より加盟36団体中32団体(出席18団体、委任状14団体)で総会の成立が報告され、NPO法人「いのちのミュージアム」の土屋さんを議長に選出し議事に入りました



第1号議案の平成25年度の活動報告、会計報告、監査報告、第2号議案の平成26年度活動計画案、予算案については、予め全会員団体に配信された資料に基づきそれぞれの項目別に担当部会長より説明され、質疑応答の後に異議なく全員の承認で決定されました。総会で出された質問・意見はリレー・フォー・ライフへの参加費確認、連絡会がNPO法人化を目指すことの意義確認およびホームページ管理など富士通研究所が進めているまち記者による団体情報収集事業との連携確認の3件でした。



ご来賓代表 荻原副市長



進行役 土屋さん



議長 土屋さん



懇親会の様子

次に報告議題として「世話人の辞任」について、湯口会長から現在の世話人9名のうち2名が事情により辞任し、残任期間は残り7名の世話人で運営する旨報告があり、全員異議なく了承されました。また溝口事務局員を事務局長とする旨を報告しました。

総会終了後に、1階講座室に移り懇親会が行われました。行政の方々にも参加していただき、加盟団体相互の和やかな交流の場となりました。今後、連絡会がNPO法人化を目指し、名実共に日野市の市民活動団体の中間支援組織として、加盟団体のさらなる活性化支援や地域との連携による“住みやすいまちづくり”の担い手を目指し、発展させて行こうと誓い合った総会でした。

# 新しい年度のスタートに立って

— 期待と信頼の得られる組織でありたい —

ひの市民活動団体連絡会会長 湯口裕



新しい年度がスタートしました。昨年は定款を変更し、当連絡会が市民活動の中間支援組織であることを一層明確にしました。今年度は中間支援組織として何をどう実行するのかが問われる年であると思います。

就任2年目を迎えられた大坪日野市長がこのほど、市政推進の基本姿勢として「諸力融合」ということを表明されました。私たち、市民団体も諸力の一つとして大いに期待していただきたいと思います。われわれ市民活動団体の一つひとつは、環境の保全、子育て支援、高齢者や障害者の福祉、まちの活性化など、様々な面から日野のまちをより住みよいものにすることを目指しています。その「個々の団体がより活発に活動できる環境作り」と、「団体同士が連携して新たな活動に取り組むお手伝い」をするのが、当連絡会の役割だと思っています。

そのために、まずは行政との連携を深めていきたいと考えます。まちづくりのために為すべき市民と行政の役割分担を、行政と一緒にもう一度見直してはどうでしょうか。その上で、まちづくりの受益者である市民が知識・ノウハウ・労力を提供して行政の事業推進に協力し、その一方で市民が独自に取

り組むまちづくり事業に対して行政のより一層の支援を得たいものです。

もう一つは連絡会のNPO法人化です。当連絡会が市民と行政の期待と信頼を得る存在であるためには、しっかりとした組織である必要があります。そのために今年度はNPO法人（特定非営利活動法人）としての法人化を目指したいと考えています。NPO法人であるためには、組織運営を一定のルールに基づき透明なものにしていく必要があります。現在よりも運営上の負担が増えますが、一定の基準を満たした組織であることを外部にも発信でき、市民やその他の社会から信頼と支援が受けられやすくなります。さらに将来的にはとりわけ信頼できる組織であり、市民等からの寄付に対して税制上の様々な優遇制度が適用される認定NPO法人という法人格の取得を視野に入れていきたいと思っています。

以上のように、行政との連携推進と組織の確かさの増進により、中間支援組織として期待と信頼の得られる組織に向け一歩進んでいきたいと考えています。

今年度も当連絡会に対する会員各位のより一層のご支援とご協力をお願いいたします。

## 平成 25 年度決算と平成 26 年度予算

### (平成 25 年度決算)

収入			
項目	市受託対象	受託対象外	合計
会費収入		147,000	147,000
受託収入	1,500,000	160,714	1,660,714
管理協力金		69,407	69,407
代外収入		98,860	98,860
雑収入		27,057	27,057
光熱費預り金		113,690	113,690
25年度合計	1,500,000	616,728	2,116,728
前年度繰越金		852,832	852,832
総計	1,500,000	1,469,560	2,969,560

  

支出			
項目	市受託対象	受託対象外	合計
支援センター管理運営人件費	1,037,404	193,022	1,230,426
支援センター管理運営諸経費	322,596	126,787	449,383
支援センターまつり開催費	16,000	53,367	69,367
市民活動フェア等開催費	44,000	38,512	82,512
加盟団体交流費		30,622	30,622
広報関係費	80,000	31,534	111,534
光熱費預り金		113,690	113,690
25年度合計	1,500,000	587,534	2,087,534
次年度繰越金	0	882,026	882,026
総計	1,500,000	1,469,560	2,969,560

### (平成 26 年度予算)

収入			
項目	市受託対象	受託対象外	合計
会費収入		130,000	130,000
受託収入	1,500,000	160,000	1,660,000
管理協力金		60,000	60,000
代外収入		100,000	100,000
雑収入		10,000	10,000
26年度合計	1,500,000	460,000	1,960,000
前年度繰越金		882,026	882,026
総計	1,500,000	1,342,026	2,842,026

  

支出			
項目	市受託対象	受託対象外	合計
支援センター管理運営人件費	1,030,000	390,000	1,420,000
支援センター管理運営諸経費	320,000	140,000	460,000
セミナー等開催費		35,000	35,000
支援センターまつり開催費	15,000	45,000	60,000
市民活動フェア等イベント費	35,000	40,000	75,000
加盟団体交流費		50,000	50,000
広報関係費	100,000	60,000	160,000
支援センター共益費		40,000	40,000
予備費		50,000	50,000
26年度合計	1,500,000	850,000	2,350,000
次年度繰越金	0	492,026	492,026
総計	1,500,000	1,342,026	2,842,026

## 【新規加盟団体を紹介します。】

### NPO 法人やまぼうし

初めまして！認定NPO 法人やまぼうしです。やまぼうしは、多摩の自然を守り、はぐくみながら、障がいのある人もない人も誰もが『自分らしく』暮らせる地域社会の実現をめざして25年前に重度障害者が主体となって開設した「おちかわ屋」からスタートしました。現在は、本部事業部、障害者のくらしと仕事をサポートするサポート事業部、5つのやまぼうしホーム事業部、7カ所の通所やまぼうしスローワールド事業部を展開、日野だけでなく、八王子や北海道富良野などにも拠点を開設しています。

その一番古い事業所「おちかわ屋」が2012年に就労支援B型となる際に新たに障害者の働くコミュニティレストランとして開設したのが「スローワールドふれあいの森」です。

この2月からおちかわ屋・ふれあいの森が市民活動支援センターの事務スペースをお借りすることとなり、それを機にやまぼうしはひの市民活動団体連絡会に参画致しました。認定NPO 法人としての強みをいかし市民・行政・企業と連携してこれからの新たなまちづくり事業を創出していきたいと思っています。

ふれあいの森は市民活動支援センターから徒歩5分ほどのふれあいホールの中にあります。土日祝含め夜間20時まで営業、毎日心をこめて手づくりのお食事やスイーツを提供していますのでぜひ一度お立ち寄りください。メンバー一同、皆様のお越しをお待ちしています。現在は火曜定休ですがお客様からの声に応え休まず営業することも検討中です。

最後になりましたが、福祉サービスをご利用したい障害をお持ちの方、レストランのお客様、ボランティア、ご寄附（物品含）それぞれ募集（？）しております。どうぞお気軽にご連絡ください。

（本部：Tel/Fax  
042-581-7946）

今後ともよろしくお願ひ致します。



スローワールドふれあいの森



### 日野いずみ会（日野精神障害者家族会）

4月より、ひの市民活動団体連絡会に加盟させていただきました。どうぞよろしくお願い致します。

日野いずみ会は、身内に精神障害者を抱える家族の集まりで、平成4年春に発足し、現在会員は75名、賛助会員20名です。

家族会の活動は、①相互支援 ②学習 ③社会的運動  
\*月1～2回の会合 \*毎月の会報発行 \*福祉施設の見学  
\*講師を招いての講演会・学習会 \*会員同士の交流 \*親睦会（バスハイク、新年会など） \*当事者の集まりを支援  
\*福祉制度の改善や施設の増強など行政への働きかけ \*家族相談 などです。

家族が直接施設の運営や、生活支援を担う事業には携わってきませんでした。その時々ニーズに応じて行政、施設、関係団体へ要望や提言を行ってきました。会員同士の悩みを共有し、支えあって家族が元気になること、そのことが本人との関係づくりにも役立つとの思いから活動しています。

精神疾患に対する社会の差別と偏見は根強いものです。育て方や遺伝で発症するのではなく誰でも病気になるのです。精神疾患は、今や五大疾患の一つであり、社会全体で取り組むべき国民病で、家族による支援から社会的支援の転換が必要とされています。

障害を持つ人が安心して暮らせる町は、一般の人にとっても住みやすい町であると考えています。障害者関係の機関、福祉団体との連携だけでなく、いろいろな団体との交流を通して、家族の体験や、思いを伝えていくことが大切だと思っています。皆様、どうぞよろしくお願い致します。（石橋言子）

#### 【耳より情報】

##### パソコンソフトが格安で寄贈されます

市民活動団体ではパソコンを活用することで活動を効果的・効率的に展開できます。マイクロソフト社の Win-8.1 や Office2013 のソフト、シマンテックのウィルスソフト、アドビシステムのソフトを日本では、TechSoup Japan として、特定非営利活動法人日本 NPO センターがプログラムを提供市場価格の 4%～10%程度の手数料でソフトウェアを寄贈仲介します。皆さんの団体も申請してみたいかがでしょうか。詳しくは下記のホームページをご覧ください。（NPO 法人シニアネットクラブ・久保）

問い合わせ先:認定特定非営利活動法人 日本 NPO センター  
100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 245  
TEL. 03-3527-9774 [www.techsoup.japan.org](http://www.techsoup.japan.org)



## 地域懇談会を開催します

日頃より、地域協働課の事業にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

地域協働課では、今年も6月下旬から地域懇談会の開催を予定しています。

今年は、テーマを「**地域が地域を知る!**」として内容も新たに開催します。

日野市政の新たな戦略である「ヘルスケア・ウェルネス戦略」のコミュニティ活性化分野の事業に位置づけ、『それぞれの力をつなげていくことで、一つの大きな力をとって課題を乗り越えていく力を地域が持つこと』を目的としています。

これまでの自治会に加えて、子ども会、PTA、育成会、ひのち、青少年委員、保護司、スポーツ推進委員、民生児童委員、老人クラブ、地域包括支援センター、大

学等の方々にも懇談会に参加して頂き、地域づくりのために様々な側面から情報交換して頂く場です。

今回は初めての試みでもあるので地域の「顔合わせ」を目的に行って頂き、地域内の様々な団体同士が日頃からコミュニケーションをとれる環境づくりを目指します。

また、地域の活性化を後押しするものとして以下の制度紹介も行います。

### ① 自治会インセンティブ補助金

自治会（団体）連携、自治会役員支援、若い世代の加入促進事業などの課題に取り組む自治会に補助

### ② 市民活動支援補助金

市民活動団体の活性化のための自主提案事業に補助

20年後、30年後の日野市の地域づくりのために種をまいていければと考えておりますので、ご活動されている地域で開催される際は是非ご参加ください。参加ご希望の方は、あらかじめ地域協働課にお問合せ下さい。

### 開催場所、日程（調整中）、開催時間 19:00～20:30

	中学校区	開催場所		中学校区	開催場所
6/23	三沢中	福祉支援センター	7/2	平山中	平山交流センター
6/25	七生中	南平駅西交流センター	7/4	三中	湯沢福祉センター
6/27	二中	多摩平交流センター	7/7	大坂上中	新町交流センター
6/30	一中	生活・保健センター	7/9	四中	発達・教育支援センター

## ◇◆事務局だより◆◇

### 1. 事務局サポート時間の拡大と26年度の事務局員

今年度から事務局窓口のサポート時間を、週1回午前勤務（毎週月曜日 10:00～）を追加し、会員の皆様や一般市民への相談窓口対応を充実します。事務局員は引続き事務局長溝口および事務局員高橋が担当し、少しでも皆様のお役に立てるよう取り組んで参ります。

### 2. 皆さん 宜しくね！（新入会員の紹介）

精神障害者家族会「日野いずみ会」（代表：石橋信子）が今年3/25世話人会で入会承認され、連絡会の新たなメンバーとして活動されます。この結果当会の会員数は36団体となりました。

### 3. 事務室入居団体を募集中

市民活動支援センターの事務室（A）の利用者は直近の入居予定を含め、現在3団体が利用しています。この部屋は共同事務所方式を採用しており、更に6団体位は利用（費用は12,000円/年の共益費負担のみ）可能となっており、コミュニケーションの場としても有効です、是非ご活用下さい。

### 4. 2014市民フェア（仮称）の参加者募集中

昨年11月に実施した第2回市民活動フェアの今年度計画を推進中です。今年度は“くらしのフェスタ”との統一開催として、呼称も表記の通り“2014市民フェア”とし、両者が一体となり“住み良いまち ひの”を目指して取り組んでいます、是非ご参加下さい。

### 【編集後記】

#### 広がれ！「市民活動 -市民による市民のための活動- の輪」

ひの市民活動団体連絡会広報部員として連絡会ニュースの編集を担当して丸4年。市民活動の大先輩である中尾さん（まちづくりフォーラム）より引き継ぐ形で引き受けた。連絡会は、それぞれ自分の所属する団体の活動をこなしながら、連絡会の役割も引き受けて頑張っている方がたくさんいる。これまで、会に所属しなかったら出会うこともなかったと思われる年代の方々からたくさんのお話を教えていただいた。特に現在連絡会会長の湯口さんの生き方にとっても感動し「湯口さんが頑張っているのだから私だって少しでもお役に立ちたい」と編集担当を続けてきたと言っても過言ではない。

年4回の発行は、全体の紙面わり、原稿集め、編集作業、校正会議、執筆者確認の流れでコツコツと期日までにこなしていかなくてはならない。そんな時に限って色んな事が重なり作業は大抵深夜パソコンに向かうということに…。4年間（14号～33号）のニュースの中では、現在日野市長の大坪さんが健康福祉部長だった時のお話のまとめや、現在副市長の荻原さんが企画部長だった時のお話、そして現在教育長の米田さんが子ども部長だった時のお話のまとめなどを掲載したことなども思い出されます。連絡会ニュースは今回で34号の発行となりました。継続にはしんどいことも伴いますが、発信することはとても大切です。志を持って、『楽しみながら』続けていくためにどのような工夫が可能なのか？試行錯誤を続けながら、今後いっそう日野市の「市民活動の輪が広がっていくこと」を願ってこの大役を退かせていただきます。今までありがとうございました。

（NPO法人子どもへのまなざし 中川 ひろみ）